

2025年度日本演劇学会全国大会タイムテーブル

会場：広島大学文学部（東広島キャンパス）

〈1日目〉 2025年6月21日（土）			
10:00	受付開始（文学部棟1階玄関ロビー）		
	A会場（B204教室）	B会場（B251教室）	C会場（B153教室）
10:30-12:30	パネルセッション1（開催校企画1）	研究発表① 司会：永田靖（大阪大学）	研究発表② 司会：岩井眞實（名城大学名誉教授）
(10:30-11:05)	演技者の「市民性」を育成する演劇とその可能性 ―地域／社会の課題へのアプローチ―	①-1 浜田誠太郎（早稲田大学大学院生） 演出家が「間 nay3a」を指示すること： スタンislavフスキーの演出ノートを事例に	②-1 岡田登貴（大阪大学大学院生） 下間少進能型付の変遷から見えてくるもの ―『炭蓮江間日記』と『少進能伝書』・『童舞抄』の比較―
(11:10-11:45)	有元伸子（広島大学名誉教授） 矢吹文乃（八戸工業高等専門学校） 大岡慎治（広島県立呉三津田高等学校） 戸田山みどり（八戸工業高等専門学校名誉教授）	①-2 松山立（日本大学） 俳優教育をめぐる演劇学校と大学の関係	②-2 児玉絵里子（京都芸術大学） 近世期芸能の踊衣裳と染織意匠 ―若衆歌舞伎と「ゆきのふりそでちらちらと」―
(11:50-12:30)		①-3 藤崎周平（日本大学） リアリズム演技における感情の解釈	②-3 壺佳代子（城西大学） 戯曲家と演者の力学 ―上演における幫間の表現から―
12:30-13:30	昼休憩（60分）		
13:30-13:45	開会式（B204教室）		
	開会の辞：会長 小菅隼人（慶應義塾大学） 開催校挨拶：小林英起子（広島大学）		
13:55-14:55	特別講演（B204教室） 司会：小林英起子（広島大学）		
	山名淳（東京大学） 演劇が想起する―文化的記憶としての「あの夏の絵」と劇中証言		
	A会場（B204教室）	B会場（B251教室）	C会場（B153教室）
15:10-17:10	パネルセッション2	パネルセッション3	研究発表③ 司会：阿部由香子（共立女子大学）
(15:10-15:45)	観光演劇学の創出に向けて	ドキュメンタリー演劇を／で学ぶ演技者	③-1 周佳正（広島大学大学院生） 転換期と映画統制の間 ―戦時下における久保田万太郎脚色『歌行燈』とその映画
(15:50-16:25)	日比野啓（成蹊大学） 小畑克典（芸術文化観光専門職大学） 平田オリザ（芸術文化観光専門職大学）	萩原健（明治大学） 川島裕子（関西大学） 佐藤信（演出家／鳴座主宰／若葉町ウォーフ代表）	③-2 大串雛子（明治大学大学院生） 岡田八千代の小説『お夏清十郎』とその劇化
(16:30-17:10)			③-3 川口典成（ドナルカ・パッカーン主宰／日本演出者協会理事） なぜ森本薫「女の一生」の初稿版は上演されないのか
17:10-17:30	休憩・移動		
17:45-18:40	広島神楽鑑賞（サタケメモリアルホール） 鈴張神楽団（広島市安佐北区） 演目：土蜘蛛		
18:50-20:30	懇親会（学生会館 ラ・ポエーム）		

《2日目》 2025年6月22日(日)			
9:00	受付開始 (文学部棟1階玄関ロビー)		
	A会場 (B204教室)	B会場 (B251教室)	C会場 (B153教室)
9:30-11:30	パネルセッション4	研究発表④ 10:10開始 司会:細井尚子(立教大学)	研究発表⑤ 司会:平川大作(大手前大学)
(9:30-10:05)	早稲田大学演劇博物館所蔵資料からみる新劇と興行 赤井紀美(東北大学) 熊谷知子(早稲田大学演劇博物館) 藤崎景(明治大学大学院生) 児玉竜一(早稲田大学／演劇博物館館長)		⑤-1 垣沼絢子(立命館大学) ストリップ劇場をめぐる「芸術化」の一側面 —衣裳製作者のインタビュー分析から—
(10:10-10:45)		④-1 柏木純子(北翔大学) 19世紀フランスにおける芸能とパントマイムの交差—フェリックス・レガメ『閉じた瞳』(1895)を中心に—	⑤-2 角田佑一(上智大学) 宝塚歌劇草創期における民俗芸能の導入 —バレエ『御田植』と歌劇『日本武尊』の研究—
(10:50-11:30)		④-2 瀬戸宏(摂南大学名誉教授) 東アジアにおける近代劇形成の比較・状況整理	⑤-3 小田中章浩(大阪公立大学) カミュー・ブベイと日本演劇
11:30-12:45	昼休憩 (75分) 理事会 (B201教室)		
12:45-14:35	総会 (B204教室)		
	河竹賞授賞式		
	受賞者挨拶 河竹賞:日比野啓『「喜劇」の誕生 評伝・曾我廼家五郎』白水社 河竹賞奨励賞:垣沼絢子『近代日本の身体統制 宝塚歌劇・東宝レビュー・ヌード』人文書院 河竹賞奨励賞:森本頼子『シエレメーチェフ家の農奴劇場 18世紀ロシアのオペラ文化史』道和書院		
	A会場 (B204教室)	B会場 (B251教室)	
14:45-16:45	パネルセッション5(開催校企画2)	パネルセッション6	
	西洋演劇受容と演技者 —翻訳の役割と劇の創造をめぐる— 小林英起子(広島大学) 中山智子(京都外国語大学) 樋口史都(広島大学大学院生) 溝淵園子(広島大学)	身体技法(メソッド)が育む民主性と集団性 —身体から舞台上演・ワークショップ・地域を考える— 本橋哲也(東京経済大学) 塚本知佳(日本大学) 守屋慶二(俳優・身体トレーナー／拓殖大学第一高等学校演技講師) 竹内大樹(俳優・演出家／IWAMI ARTS PROJECT代表／しまねふるさと親善大使)	
16:45	閉会式 (B204教室)		
	閉会の辞:副会長 林公子(近畿大学)		